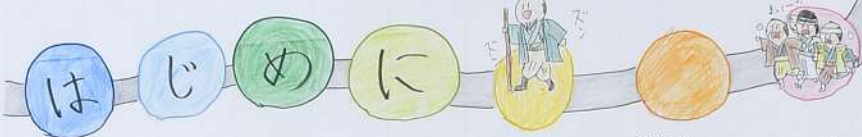




香楠中1年  
木村光宏



僕は2018年の肥前さが幕末維新博覧会で、島義勇公のことを知りました。同じ佐賀に生まれ、北海道の礎を築き、今も愛される彼を、僕は誇りに思います。  
そんな島義勇公を、もっとたくさんの人に知ってほしい。そう思っ、て、「スゴロク」として、彼の一生をまとめてみました。

# 島義勇の開拓〜人物編〜

**鍋島直正**  
佐賀藩の藩主であり、初代開拓使長官。日本初の実用蒸気船や鉄製大砲の鑄造に成功。開拓のあとおしも。

**松浦武四郎**  
幕末に蝦夷地を探険調査。後に島らを指導。ちなみに、松浦家のルーツをたどると、肥前国の人だったと。

**大友亀太郎**  
二宮金次郎の弟子で、兵部省に属しながら島に協力。大友堀(後の創成川)をつくった。

**島義勇**  
維新後、開拓使判官として北海道開拓に尽力。志半ばで解任となったが、彼の構想は今の札幌の基礎になっている。

**十文字龍助**  
蝦夷地の研究者。維新後は、開拓使の役人として、札幌で島を支えた。

**枝吉神陽**  
島の従兄弟。後に政府で活やくる人物を生みだした。若祭同盟を結成した。(島も参加。)

**福玉仙吉**  
島の従者。島をサポートし、彼が北海道を去ったあとは、農業をした。島の死を悼み、北海道神宮に桜をうえた。

1858

帰藩。  
財政をになう御蔵  
方組頭になる。



そして、蝦夷地で  
見たことなどを、  
『北記』として  
4冊にまとめる。

過酷な労働  
を強いられる  
阿ヌの人のこと  
知る。

1856 ｽﾄｯﾌﾟ! 日

義勇、直正の命で、  
蝦夷地調査へ  
出発!



おやつを買い  
ため! 回休み

1864

長崎に侵入した外  
国船を阻止した  
香港島勤務所の  
隊長となる。  
27歳



同年  
観光丸の  
船長になる。  
船のサイズ 27歳

1865

佐賀藩で、  
日本初の疾用  
蒸気船、  
清風丸  
が完成  
32歳

皮膚病に  
なり  
千歳  
で療養  
2回休み

山台の  
文字羅  
や、蝦夷地を探索  
した。松浦武四郎  
らと出会う。

1851

パリーが  
浦賀に  
来航



1852

佐賀藩が、  
鉄製大砲の  
鑄造に成功



1850

枝吉神陽の  
「義勇回覧」  
に参加する。  
(尊皇論としてな  
る若物が筆主)  
枝吉は副島種臣  
と島はとんとん  
後の答とよ。



1847

帰ってきた義勇  
は直正の  
外小姓と  
なる。

ｽﾄｯﾌﾟ! 遊学

3年程遊学。  
水戸藩の藤田東湖  
から蝦夷地のことを  
知る。



1872

秋田県の  
権令となる。

1844

2年早く、  
弘道館を  
卒業。  
余卒業したい  
ことを言!



4月13日、刑死。  
53年の波乱に満ちた  
生涯に幕を閉じた。

GOAL

敗れ、  
鹿児島で  
とらえら  
れた。

1874 ｽﾄｯﾌﾟ! 任

江藤新十と共に  
戦うことを決意。

同年  
江藤新十案  
を考案し  
ねも、解任

1871

直正死去  
享年58

1839

弘道館  
に入学  
勉学にはげむ  
27歳

同年

直正が  
藩主に  
なる。

北海道  
開拓コース

大友堀  
をついた  
大友堀太郎  
と会う。  
蝦夷地  
は北海道  
となる。

1869  
直正が  
蝦夷地  
に参る  
島津重  
豪に  
会う

街の基礎  
をつくりは  
じめる。  
石狩市  
の指図を  
作成  
27歳

街の形が  
できてきた。  
なんと  
食糧が  
足りない  
ように  
見えるが...

街所と共に  
道路  
もつくる。  
募集し  
いた  
移住  
が入ってくる。

食糧を運ぶ  
舟が  
沈没...!

おと  
周辺の住民が  
食糧を提供してく!

もう秋が  
きょうだ!  
期待は  
す

場所請負制を  
廃止。  
商人らの反感を  
かてしまう。

帰  
ってきた  
よ。

同年  
大学少監に  
任命された。  
27歳

さらに同年  
明治天皇の  
侍従になる。

1871  
直正死去  
享年58

START

1822 9月12日

島義勇 佐賀城下  
誕生!



1839  
弘道館  
に入学  
勉学にはげむ  
27歳

同年  
直正が  
藩主に  
なる。

# 島義勇の開拓〜街づくり編〜

スゴロクで紹介しきれなかった、島義勇の街づくりの構想について紹介!!

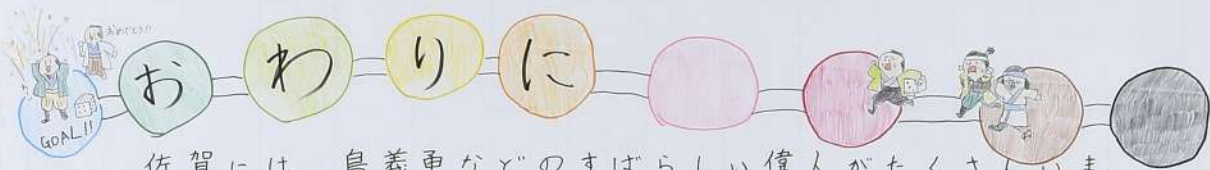
大通は商人の町で、車がおきたとして役場から人にもまわりがらないようにするたりのものなどとして。

〈島の構想〉

それからおよそ150年後

〈現在の札幌(一部)〉

そして、オリビックワラなんやらあって... 現在人口約197万人の大都市に!! 島の詩にある様に世界一ではなく、世界有数の都市となった。



佐賀には、島義勇などのすばらしい偉人がたくさんいます。彼らは僕と同じく佐賀に生まれ、いつも日本を支えました。そんな、誇るべき佐賀の偉人をもっとたくさんの人に知ってほしいです。そして、どんな困難にも負けず、未来を切り開いていった彼らのような強い人になりたいです。

1575 福玉仙吉が島の冥福をいのり、北海道神宮に桜150本を植える。

1716 従四位をおくられる。

1738 開拓神社に、直正ら開拓功立者の一人としてまつられる。

1779 北海道神宮に、銅像がたてられる。

1791 札幌市役所のロビーに、島義勇の銅像がたてられる。

2001 六花亭が「利官さま(もろまき)」を無料でふるまう。

2005 佐賀県立佐賀県立博物館南公園に、佐賀の役殉国三烈士の碑が建てる。

2011 島義勇が刊行される。

2013 開拓利官島義勇顕彰会が発会された。

2014 マガ島義勇伝が刊行される。

2018 明治維新150年 北海道命名150年 末の街スリロジックという企画で、佐賀と北海道の45.6のつながり、北海道に島義勇について学ぶ。

そして、これからも、義勇は愛され続けるのであつた...



出典★

佐賀の賢人歴史散策お楽しみ帳

- 島義勇伝
- 島義勇物語
- 漫画 鍋島直正
- さっぽろのあがわる小本 ミニまち